

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2013年上半期の検察庁による犯罪統計の結果、被害届出総件数については前年比2.7%減少したものの、強盗・恐喝・引ったくりの犯罪にあつては前年比10.8%増加しており、邦人居住区であるサンティアゴ東部地区の住居に対する強窃盗事件が21.6%増加、カード詐欺や未成年者に対する性犯罪も増加傾向にあると発表された。

また、アディマーク社による国民に対するアンケート結果では、37.6%の家庭が盗難被害に遭った、若しくは同未遂被害に遭ったと回答し、前回の36.6%を上回る結果となっていることから、引き続き盗難被害に対する注意が必要である。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 7月3日(水)夜半、サンティアゴ市プロビデンス区に所在の警察職員用の幼稚園において、強盗犯2名が幼稚園から出てきた従業員をけん銃で脅し、同所に駐車中の車両を奪って逃走した。

(2) 7月4日(木)2時40分頃、サンティアゴ市レコレタ区に所在の軍施設に強盗犯2名が侵入し、当時警備に従事していた軍人を襲撃、所携していたライフル銃を奪って逃走した。

(3) 7月6日(土)13時頃、サンティアゴ市プロビデンス区に所在のモール内の宝石店において強盗事件が発生した。強盗犯2人組がけん銃等で店員を脅し、約30秒の間にショーケース等から腕時計等を奪って逃走した。

(4) 7月12日(金)14時頃、サンティアゴ市プロビデンス区に所在の銀行において、強盗事件が発生した。70歳の男性が同銀行で1,500万ペソを引き出した後、同人の息子と共に銀行から出たところ、強盗犯2名に刃物で襲撃され重体となり、被害者等の抵抗により犯人は現金を奪えず、逃走した。

(5) 8月5日(月)16時頃、サンティアゴ市ビタクラ区に所在の民家において強盗事件が発生した。強盗犯2人組が台所から侵入、家人等をナイフで脅して電話線で緊縛し、6千万ペソ相当の現金、貴金属類等を奪って逃走した。

(6) 8月24日(土)未明、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在のゲームセンターにおいて強盗事件が発生した。店内に居合わせた警察官が応戦して銃撃戦となり、強盗犯1名が死亡、警察官も銃撃を受け重傷、強盗犯2名が逃走した。

(7) 9月29日(日)20時30分頃、サンティアゴ市プロビデンス区の路上(当館の北方約500メートルの交差点)において、逃走車両が横転事故を起こし、信号待ちの歩行者2名が巻き添えとなって死亡した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 7月21日(日)7時頃、サンティアゴ市サン・ホアキン区に所在の銀行

において爆弾事件が発生した。3名の覆面グループが同行に爆弾を仕掛けて爆発させ、ドアガラス等を破壊した。人的被害は無し。

(2) 7月31日(水) 0時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の警察特殊部隊付近で爆弾事件が発生した。路上に駐車されていた警察関係車両の下に音響爆弾が入ったリュックサックが仕掛けられ爆発した。

(3) 8月9日(金) 未明、サンティアゴ市プロビデンス区に所在のビルにおいて爆弾を発見した旨の通報があった。爆発物処理班が出動し、ビル内を捜索したが、爆発物の発見に至らず、虚報であることが判明した。

(4) 9月3日(火) 明け方、サンティアゴ市サンティアゴ区のガソリンスタンド付近において不審物が発見された。爆発物処理班が出動し、リュックサック内に隠匿された時限装置付きの消化器爆弾を発見、排除した。

(5) 9月4日(水) 明け方、サンティアゴ市プロビデンス区に所在の自動車販売店付近において、警察が時限装置付きの爆弾を発見した。爆発物処理班が出動し、排除した。

(6) 9月4日(水) 深夜、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在のレストラン前に放置された消化器が発見されたことから、爆発物処理班が出動し確認したところ、黒色火薬入りの消化器であることが判明した。

(7) 9月9日(月) 21時頃、サンティアゴ市ペニャロレン区に所在の会場において爆破予告があった。当時軍事クーデター発生日40周年の式典を行っており、参加した400名が一時避難した。爆発物処理班が出動し捜索したが、爆発物の発見に至らなかった。

(8) 9月26日(木) 未明、第9州(アラウカニア州) テムコ市において、バチェレ大統領候補事務所に対して火災爆弾が投げ込まれ、玄関が一部焼損、落書きも発見された。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

8月28日(水) 明け方、第5州(バルパライソ州) キルプエ市において若者5名が誘拐された。10名程の誘拐犯が警察を名乗り、被害者達が集まっていたアパートを訪れ、その後誘拐した。被害者の中には麻薬関係の前科があり、本件との繋がりを調べている。

5 対日感情

8月30日(金) 14時から17時までの間、シーシェパードを名乗る約20名の若者が、当館正門前歩道上において我が国イルカ漁に反対する抗議活動を行った。

6 邦人被害

(1) 7月27日(土) 17時頃、サンティアゴ市プロビデンス区に所在のシ

ショッピングセンターにおいて在留邦人が買い物中、買い物カートに置いていた現金等在中のハンドバッグを盗まれた。

(2) 7月29日(月) 21時頃、第5州(バルパライソ州) イースター島において在留邦人が旅行中、ホテルの部屋の窓枠が外され、旅券等在中の鞆等が盗まれた。

(3) 8月29日(木) 未明、第6州(リベルタドール州) ランカグア市内のホテルにおいて邦人旅行者が宿泊中、室内においていたポシェット内から現金2,000ドル、旅券を抜き取られ盗まれた。

(4) 9月5日(木) 21時30分頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区に所在のショッピングモール内のカフェにおいて在留邦人が飲食中、隣の席に置いておいた電子辞書等在中の鞆を置き引きされた。

(5) 9月9日(月) 22時30分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在のホテル正面玄関前において、国家警察軍警察官やホテル警備員が警備に従事していた中、在留邦人が車両のトランクにバッグを積載した後、荷物から目を離した一瞬の隙にバッグを盗まれた。

(6) 9月12日(木) 21時30分頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区に所在のショッピングモール内喫茶店において在留邦人が知人と飲食中、空席に置いた電子辞書等在中のバッグを置き引きされた。

(7) 9月14日(土) 未明、邦人旅行者が第10州(ロス・ラゴス州) プエルト・モン市からサンティアゴ市までバスで移動している間、座席をフラットにして鞆を足下に置き、更にその上に両足を乗せて就寝中、鞆内から現金等在中の財布を盗まれた。

(8) 9月23日(月)、邦人旅行者がアルゼンチンのメンドーサ市からサンティアゴまでバスで移動している間、膝の上に置いていた旅券、現金等在中のウェストポーチを盗まれた。